



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 ジェコス株式会社

コード番号 9991 URL <http://www.gecoss.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 弓場 勉

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 吉川 修治

TEL 03-3660-0776

四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	56,812	△4.3	638	△59.2	506	△63.2	334	△47.9
23年3月期第3四半期	59,356	△2.4	1,565	525.3	1,377	—	641	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 477百万円 (△22.9%) 23年3月期第3四半期 619百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	9.17	—
23年3月期第3四半期	17.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	88,953		26,096		29.3	
23年3月期	85,340		25,910		30.4	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 26,096百万円 23年3月期 25,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	△5.9	1,600	△3.7	1,300	△14.1	700	△35.9	19.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	36,436,125 株	23年3月期	36,436,125 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	30,674 株	23年3月期	30,162 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	36,405,645 株	23年3月期3Q	36,406,623 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信[添付資料] 2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	10
(1) 連結業績（セグメント別前年同期比較）	10
(2) 連結貸借対照表（前期末比較）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月～平成23年12月）（以下、「当第3四半期」という。）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に脱しつつあるものの、円高の進行や欧州の財政不安等による先行きの不透明感が続いております。このような状況の中、建設業界も本格的な回復にはいたらず、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

以上の厳しい環境のもとで、当企業集団は採算性を重視した受注活動を行うなど、収益力の向上に努めてまいりました。

これにより、当第3四半期における連結売上高は568億12百万円（前年同期比4.3%減）となり、利益面におきましては、営業利益6億38百万円（前年同期比59.2%減）、経常利益5億6百万円（前年同期比63.2%減）、四半期純利益は法人税等改正の影響もあり3億34百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

(仮設鋼材事業)

仮設鋼材事業におきましては、震災影響により中断していた建設計画が一部再開したことで、建設需要に持ち直しの動きが見られましたが、全国的な需要の回復にはいたらず、売上高は503億10百万円（前年同期比6.8%減）となり、経常損失3億53百万円（前年同期は経常利益12億46百万円）の計上を余儀なくされました。

(建設機械事業)

建設機械事業におきましては、震災復興関連や節電対策等により、発電機や高所作業車の稼働率が改善し、レンタル料単価が底入れしたことから、売上高は88億27百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

また、平成22年3月期に実施した事業再編を含む抜本的収益改善策等の効果により安定した利益を確保し、経常利益は9億26百万円（前年同期比242.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第3四半期末における資産の部は、前連結会計年度末と比較して36億13百万円（4.2%）増加し、889億53百万円となりました。

これは主に、これまで削減した在庫の一部補填により、たな卸資産が45億62百万円増加した一方で、減価償却の実施等によってリース資産を中心に有形固定資産が7億31百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当第3四半期末における負債の部は、前連結会計年度末と比較して34億27百万円（5.8%）増加し、628億57百万円となりました。

これは主に、仕入債務の増加に伴い支払手形及び買掛金が53億77百万円増加した一方で、リース債務が11億89百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第3四半期末における純資産の部は、前連結会計年度末と比較して1億86百万円（0.7%）増加し、260億96百万円となりました。

これは主に、四半期純利益3億34百万円を計上し、また、土地再評価差額金が2億22百万円増加した一方で、前期末配当金2億91百万円（1株当たり8円）の支払いを実施したこと、その他有価証券評価差額金が82百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当企業集団をとりまく経営環境は、東日本大震災後の復旧・復興への取組みが始まり、凍結されていた土木・建築案件も動き出すなど好転が期待されるものの、継続的な円高や欧州経済の不安定な状況が民間建設投資の先行きに不透明感をもたらすなど、引き続き厳しい状況が続くものと想定しております。

このような経営環境において、当企業集団は、「東日本大震災復旧・復興協力班」を主軸として、復旧・復興に全社を挙げて一元的かつ機動的に対応してまいります。また、引き続き賃貸単価の改善に取り組んでまいります。

加えて、調達コストの圧縮、全社的な経費削減をより一層推進いたします。

通期連結業績予想につきましては、建設需要の動向が未だ不透明であることから、平成23年4月28日に公表いたしました数値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,302	3,399
受取手形及び売掛金	27,680	27,428
建設仮設材	23,306	25,902
商品	1,719	3,534
製品	493	407
仕掛品	243	455
原材料及び貯蔵品	380	404
その他	1,584	1,376
貸倒引当金	△549	△677
流動資産合計	58,158	62,228
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用建設機械(純額)	347	515
建物及び構築物(純額)	3,542	3,342
土地	13,318	13,311
リース資産(純額)	3,712	3,194
その他(純額)	1,121	948
有形固定資産合計	22,040	21,309
無形固定資産	421	580
投資その他の資産		
投資有価証券	2,254	2,193
その他	3,132	3,223
貸倒引当金	△665	△581
投資その他の資産合計	4,722	4,836
固定資産合計	27,183	26,725
資産合計	85,340	88,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,780	28,156
短期借入金	25,250	19,750
リース債務	2,884	2,162
未払法人税等	78	222
引当金	710	263
その他	1,993	1,750
流動負債合計	53,696	52,305
固定負債		
長期借入金	—	5,500
リース債務	3,182	2,715
再評価に係る繰延税金負債	2,204	1,976
引当金	333	355
その他	16	7
固定負債合計	5,734	10,552
負債合計	59,431	62,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,398	4,398
資本剰余金	4,596	4,596
利益剰余金	18,230	18,276
自己株式	△14	△15
株主資本合計	27,209	27,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	92
土地再評価差額金	△1,473	△1,251
その他の包括利益累計額合計	△1,299	△1,159
純資産合計	25,910	26,096
負債純資産合計	85,340	88,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	59,356	56,812
売上原価	49,365	47,217
売上総利益	9,990	9,595
販売費及び一般管理費	8,425	8,957
営業利益	1,565	638
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	6	14
投資有価証券売却益	1	—
持分法による投資利益	90	90
固定資産処分益	94	8
貸倒引当金戻入額	7	66
その他	104	45
営業外収益合計	302	225
営業外費用		
支払利息	425	325
手形売却損	26	21
その他	39	10
営業外費用合計	490	356
経常利益	1,377	506
特別損失		
減損損失	9	6
特別退職金	205	—
特別損失合計	214	6
税金等調整前四半期純利益	1,163	500
法人税、住民税及び事業税	108	257
法人税等調整額	414	△91
法人税等合計	522	166
少数株主損益調整前四半期純利益	641	334
少数株主利益	—	—
四半期純利益	641	334

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	641	334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△82
土地再評価差額金	—	225
その他の包括利益合計	△22	144
四半期包括利益	619	477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	619	477
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	仮設鋼材	建設機械	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	52,846	6,510	59,356	—	59,356
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,158	1,591	2,749	△2,749	—
計	54,004	8,101	62,105	△2,749	59,356
セグメント利益	1,246	270	1,517	△140	1,377

(注) 1 セグメント利益の調整額は、連結調整△140百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	仮設鋼材	建設機械	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	49,321	7,491	56,812	—	56,812
セグメント間の内部売上高又は 振替高	989	1,336	2,325	△2,325	—
計	50,310	8,827	59,137	△2,325	56,812
セグメント利益又は損失（△）	△353	926	572	△66	506

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額は、連結調整△66百万円であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 連結業績（セグメント別前年同期比較）

（単位：百万円）

	2011年3月期 第3四半期累計 (2010/4~2010/12)	2012年3月期 第3四半期累計 (2011/4~2011/12)	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	59,356	56,812	△2,544	△4.3
仮設鋼材事業	54,004	50,310	△3,694	△6.8
建設機械事業	8,101	8,827	726	9.0
調整額 ※1	△2,749	△2,325	424	
売上原価	△49,365	△47,217	2,149	
売上総利益	9,990	9,595	△395	△4.0
(利益率%)	16.8	16.9		
販売費及び一般管理費	△8,425	△8,957	△532	
営業利益	1,565	638	△927	△59.2
(利益率%)	2.6	1.1		
営業外収益	302	225	△77	
営業外費用	△490	△356	134	
経常利益	1,377	506	△870	△63.2
(利益率%)	2.3	0.9		
仮設鋼材事業	1,246	△353	△1,600	—
建設機械事業	270	926	656	242.6
調整額 ※1	△140	△66	74	
特別利益	—	—	—	
特別損失	△214	△6	207	
税金等調整前当期純利益	1,163	500	△663	△57.0
(利益率%)	2.0	0.9		
税金費用	△522	△166	356	
当期純利益	641	334	△307	△47.9
(利益率%)	1.1	0.6		

(注)

※1 セグメント売上の調整額はセグメント間の内部売上高又は振替高の消去額であり、セグメント利益の調整額は連結調整であります。

